



みらいん

たいはく

「みらいん」は、
震災からの復興に向けて
歩むまち・仙台の“ひと”と“地域”の
今を結ぶ情報紙です。



今月の
ひと

あすと長町仮設住宅の 婦人防火クラブ

**二度と同じ思いをしないために
仮設住宅の安全を守りたい**

おそろいの真っ白なかつぼう着を身にまとい、笑顔を見せるのは、あすと長町仮設住宅婦人防火クラブの皆さんです。二〇一二年十一月、クラブ長の氏家好子さん(写真前列中央)を中心に、仮設住宅住民有志十六名で立ち上げました。

クラブではこれまで、防災訓練の炊き出しを担当したほか、今冬には氏家さんの発案で仮設住宅内の夜回りを毎日交代で行いました。火事の注意喚起が目的でしたが、生活環境の改善にもつながったと言います。「暗がり死角になる場所や、放火されやすそうなゴミ、通路をふさぐ自転車を見つけて、改善を促すこともできたよ。活動が仮設住宅の安全に役立ってうれしいね」と、氏家さんはほほ笑みます。

設立のきっかけは、火事を未然に防ぎたいという思い。家屋が密集した仮設住宅では火事が起これば、被害は二軒だけでは済まないという危機感からでした。「仮設住宅に住んでいるのは、震災で家を失った人たち。二度と同じ思いはしたくないし、皆にもしてほしくないんだ」。そう語る氏家さんの表情は真摯な思いに溢れていました。

2013
6月

快適な 仮設住宅ライフを 送るために

住み慣れた仮設住宅にも、実にさまざまなトラブルが潜んでいます。今回は、実際に仮設住宅などでお聞きした日々の暮らしの中で生まれた疑問・質問に関して、その道のエキスパートの方々に対処法を聞いてみました。



防災(火事)について



Q 仮設住宅での火事が発生すると、被害が大きくなりそうです。普段からどんな事を心がければ？

A 一棟に数世帯が入居されている仮設住宅の場合、万が一でも火災が起きてしまうと延焼が拡大する危険性があります。被害を防ぐためには「被害は自分だけでは済まされない」といった意識を持つことが、とても大切になります。家庭でできる具体的な対策としては、例えば「ストーブ

火事を見つけてからの初動対応はとても重要です。緊急事態時において、一人が二役・三役は簡単にできません。周りの人と協力し助け合うことが重要です。必ず誰かに「火事だ！」と知らせ、一九番通報と早めの避難を。通報が遅れることで延焼拡大の危険があります。またこれらに対応できるように、連携を深めるためにも、積極的に住民の集いなどに参加することをおすすめします。

出火が小さければ初期消火も可能です。身近にある消火器が効果的です。消火器の取り扱い方法を知るためにも、防災訓練には参加しましょう。

Q 火事を見つけたら、まず何をすればいい？

A 火事を見つけてからの初動対応はとても重要です。緊急事態時において、一人が二役・三役は簡単にできません。周りの人と協力し助け合うことが重要です。必ず誰かに「火事だ！」と知らせ、一九番通報と早めの避難を。通報が遅れることで延焼拡大の危険があります。またこれらに対応できるように、連携を深めるためにも、積極的に住民の集いなどに参加することをおすすめします。

答えてくれたのは

仙台市太白消防署
長町出張所
防災アドバイザー
加藤 大輔 消防士



防犯について

Q 近隣の住人同士のトラブルが気になります。事件に発展しないか心配。

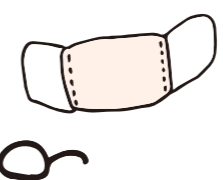
A トラブルを絶対に起こさないということ、正直言ってとても難しいこと。誰もがそれぞれの意見を持って生活している中で、内面では衝突していることもあるはず。まずトラブルを起こさないようにするコツは「思いやりを持って接すること」です。

仮設住宅など、これまでの環境と違う制限された中の生活では、皆さん何らかの不満を抱えています。相手に対する思いやりの心があれば、トラブルの発生を軽減できます。それでもトラブルが起きてしまったら、すぐ一九番に通報してください。放置すると暴力事件などに発展するケースもあるので、大事に至る前に通報しましょう。

Q 最近、仮設住宅内で不審者を見かけました。とても不安です。

A 不審者を発見した時は、すぐに二〇番へ通報してください。お住まいの方が声を掛ける必要はありません。通報を受けた警察官が不審者の確認をします。

なお通報の際は、不審者がいた場所を確認し、やせ型か太っているかなどの体格のほか、髪型やメガネの有無、服装(上着・ズボン・靴の色、履き物)、所持品などの特徴を伝えましょう。また、どのような点が不審なのか? その場所から移動してしまつた場合、移動した方向や移動手段などを覚えておく、わかる範囲で詳しく伝えることが重要です。



衛生面について

Q 食中毒の季節です。注意点を教えてください。

A 腸管出血性大腸菌O157などの食中毒は、特に乳幼児や高齢者は重症化するケースもあるので、予防のため次の二点を徹底することが重要です。

まずは感染症などと同じく手洗いが効果的です。

次に大事になるのが食品の管理です。食中毒菌を増やさないようにするため、食品は早めに食べるように心がけるほか、常温で保存できるものに関しては、冷蔵庫などで低温保存すると安心です。また食中毒菌は熱に弱いものが多いので、十分に加熱調理することでリスクを減らすことができます。もちろん「生肉」などは厳禁です。また、ふきん類も十分に乾燥してから使うようにしましょう。



Q ネズミが出ます!! どう対処すればいいの??

A ネズミは感染症など衛生上の問題や家屋の被害の原因になります。被害を防ぐためには「駆除」とともに、ネズミが増えないような環境づくりが大切になります。

まず家屋の中に、ネズミを侵入させないようにしましょう。床下や玄関などに隙間があれば、金網やパテで塞ぐのが効果的です。

建物の中や外にネズミの隠れ場所、エサなどがあれば、すぐに整理整頓をして撤去しましょう。生ゴミも

収集日の朝に出すように心がけましょう。

大切なのはエサを与えないこと。食品をそのまま放置せず、常に蓋付きの容器や冷蔵庫などにしまいましょう。仏壇や神棚の供物や、ベットのエサなども必要が無いときには片付けるようにしましょう。

また、巣材になる衣服や紙類などむやみに散らかさないようにしましょう。ネズミを追い出して、快適な生活を心がけましょう。

答えてくれたのは

仙台市太白区保健福祉センター
衛生課 食品衛生係
牛水 徹 係長(右)
衛生課 環境衛生係
杉野目 陽子 係長(中)
管理課 企画係
上西 玉樹 係長(左)



いざという時の役立つ連絡先

- 太白消防署 長町出張所 022-248-9284
- 仙台南警察署 022-246-7171
- 郡山交番 022-248-4970
- 仙台市 急患センター 022-266-6561
- 太白区役所 022-247-1111

マークの説明 防災 防犯 衛生

答えてくれたのは

仙台南警察署
郡山交番所長
遠藤 功 警部補



みらい編集部は、毎日読者の皆さんと一緒にさまざまな催しや出来事に参加し、取材しています。その一部をご紹介します。

●10日(水) イカでしゃれをひとつ
(NTT八木山社宅)



みやぎ生協のふれあい喫茶で、参加者の方からイカリングの差し入れが。美味しい手料理に思わずダジャレが飛び出しました。「イカ大好きなんだ。幸せだ〜」「イカったな〜」

●12日(金) 皆寄れば文殊の知恵!
(柳生市民センター)

「なんだ? ここ縫うと上手く開かぬぞ」「こち縫ったらどうだべ?」「待ってさい。私が試しにやってみっかな」。にぎやかな声が飛び交う、支えあいセンターたいはく主催の手芸サロン。携帯裁縫用具入れの完成見本を前に、参加した皆で頭をひねります。この日は手芸の先生が不在で、皆で知恵を出し合っ、見本からつくり方を解明しました。途中「わかん



ねえま、終わりの時間になんでねえか?」「ありえるなあ」と、諦めそうになる場面もありましたが、どうにか完成。皆で協力した分、喜びもひとしおの様子でした。

●14日(日) 本格陶芸教室
(あすと長町仮設住宅)



あすと長町仮設住宅で定期的に開催している陶芸教室。はじめて参加する方に常連さんがコツを教えるなど、交流を深めながら和気あいあいと制作に取り組んでいました。

●16日(火) お加減いかが?
(中田市民センター)



支えあいセンターたいはく主催のサロンで行われた軽体操。童謡に合わせて肩をたたきながら「どこか痛いところない?」「いい塩梅だ〜」と、皆さん和やかに取り組んでいました。

●18日(木) 四季を楽しむ散歩
(富沢市民センター)



「きれいな〜」。川岸に咲いた桜の前に、参加者の方々から口々に感嘆の言葉が漏れまゝです。支えあいセンターたいはくのサロンで筑川周辺をお散歩。皆で花見を楽しみました。

●18日(木) 植樹した桜の木でお花見会
(あすと長町仮設住宅)

あすと長町仮設住宅の敷地内に植樹されている3本の桜の木の下で、住民参加によるお花見会が開催されました。

このお花見会を主催したのは、1年前にこの3本の桜の木を植樹したソーケングループの皆さん。当日は、普段のマッサージやエステ、ネイルの支援サービスのほか、打ち立てのそばやビールなども提供。少しずつ成長している桜



の木を愛でながら、参加者の皆さんとの会話に花を咲かせていました。宴もたけなわになると、被災地で演奏を披露しているバイオリン&フルート奏者が登場。お花見を盛り上げていました。

●30日(火) 想像で補って!
(NTT三神峯社宅)



みやぎ生協のふれあい喫茶で行われたハンドマッサージ。男性参加者の方の手を取り、スタッフ「目を閉じて、若い女の想像して」と言うと、皆さんから笑いが起こりました。

読者から
ひとこと

●あすと長町に復興公営住宅がたくさん建設されることになったみたいですね。それはそれでうれしいんですけど、できればここで仲良くなった住民の方と一緒に移転したいなあって、それは賢い悩みなのかしら。知らない土地で一人で暮らすのは、正直やっぱり心細いものよ。
太田区/Kさん

●五月の連休に山形の温泉に行ってきました。久しぶりに県外に出たから、この時だけはいつもの考え事や心配事も忘れて楽しんできました。少しリフレッシュできたかな。せっかく将来のことを考えるんだから、前向きでいたいといけませんよね。
若林区/佐藤さん

●住まいは福田町に移ったけど、日中は浦生の自宅跡地に來てるね。海で育ったからやっぱり海のそばが落ち着くんだったちゃ。色んな人が見学に來るから、津波体験を伝えているんだ。
宮城野区/渡辺市雄さん

まちの語り場

集団移転、単独移転、現地再建…。沿岸部にお住まいだった方は今、お住まいの再建に向けて地域ごとに話し合いを進めています。このコーナーでは、それぞれの団体に話し合われている内容についてお知らせします。

宮城野区

中野小学校校区
復興対策委員会

中野地区四町内会(港、浦生、西原、和田)が丸となり、復興に向けた活動を行っています。

五月五日(日) 定例会議

内容

●復興事業局から配布資料をもとに説明と報告

●委員から復興事業局へ質疑応答

当日の様子



問い合わせ先
委員長 高橋実 022-258-3068
定例会議
毎月第1、第3日曜日16:00~
鶴巻1丁目東公園仮設住宅集会所

宮城野区

南蒲生えんの会

南蒲生の環境改善と緑の創出を主な目的に掲げ、若い世代主体で活動しています。

五月十二日(日)
まち歩きワークショップ

内容

●地域の現状把握を目的としたまち歩き

当日の様子



問い合わせ先
代表 二瓶透 090-7079-5371
定例会議
毎月第4土曜日19:00~
岡田会館

若林区

荒浜移転
まちづくり協議会

集団移転の早期実施と移転後の荒浜の地域コミュニティ再生を目的としています。

五月十日(金) 定例会議

内容

●ハウスメーカーからの説明

当日の様子



問い合わせ先
代表 末永薫 (問い合わせがある場合は直接定例会場においてください)
定例会
第2・4金曜日19:00~
サンピア2F 会議室4

若林区

荒浜再生を願う会

荒浜に戻って生活再建を目指す住民有志が中心となって活動しています。

五月二十日(月) 定例会議

内容

●浄土寺の今後について

当日の様子



問い合わせ先
代表 貴田喜一 090-8254-4270
定例会議
毎週日曜日19:00~
荒井小学校用地仮設集会所

荒浜の浄土寺中沢住職を招いて、これからの浄土寺について話を聞きました。
中沢住職から、現在のところ、浄土寺の再建や墓地のあり方に関して、具体的なことは何も決まっていないう状況であることが報告されました。また住職は、これからの関係者や地域の方々の気持ちを大事にして検討していくつもりである、と語りました。

続ける 支援

NPO法人NALC宮城 けやきの会の「パラソル喫茶」

東日本大震災から二年。今、さまざまなかたちで支援を続けている方々がいまいます。地域に根づいて支援を続ける方々は、どんな思いで活動しているのでしょうか。情報ボランティア@仙台の大学生記者が取材しました。

「あなたと腕を組むなんて何年ぶりかしら」「恥ずかしいなあ……。でも、たまにはいいか」。宮城野区中野にある仙台港背後地六号公園仮設住宅で四月末に開かれたお茶会「パラソル喫茶」でのひとコマです。着なくなった着物を再利用した「シニアエコファッションショー」に出演したペアラルック姿のシニア世代のご夫婦が、照れた様子で言葉を交わしていました。

NPO法人「NALC宮城 けやきの会」が毎月開催しているパラソル喫茶は、毎回アットホームな雰囲気、に包まれています。この日は、ファッションショーのほかビンゴ大会や手話交じりの歌の披露や尺八の演奏など内容多岐で、集まった約五十人の参加者が楽しんでいました。パラソル喫茶は二〇一一年七月から、仙台市内を中心に七カ所の仮設

住宅で、計七十回以上開かれてきました。晴れた日にはパラソルの下で、雨の日は室内で、コーヒーやお茶、お菓子が振る舞われます。悲しみや悩みなどを抱えた参加者の声に耳を傾ける傾聴活動が当初の目的でしたが、回を重ねるにつれ、歌や踊りなど娯楽的要素が多く盛り込まれるようになってきました。



ファッションショーに出演したふたり、ペアラルックが良く似合っています

「パラソル喫茶を始めたころは、一緒に泣くだけしかできませんでした。けやきの会の女川由美子さんはそう振り返ります。支援する側とされる側。互いに見ず知らずの間柄ゆえ、心を通わずまでにはそれなり



会場では「盆踊り」や「ふるさと」など、懐かしさを覚える曲が演奏されていました

近い年齢同士だからこそ、安心してしゃべってもらえるのではないのか、と思いきや「とけ

の時間が必要でした。パラソル喫茶を始めて半年が過ぎ、参加者がぼつりぼつりと身の上話をしてくれるようになりなりました。けやきの会メンバーの平均年齢は六十五歳を超えています。パラソル喫茶に集まる参加者たちと同世代であることが、スムーズに活動を継続している理由のひとつでもあるようです。「震災後、初めて悩みを打ち明けられたのは私たちにに対してだった、と言ってくれる参加者も少なく

やきの会代表の林さん。悩みもあります。「最近では、参加者が固定化してきています。来てくれる人は必ず来てくれるし、来てくれない人はなかなか来てくれない」。そう話すパラソル喫茶の担当者佐藤美喜さんは、「もつと多くの人に顔を出してもらいたいです。借り上げ民間賃貸住宅に住んでいる人も、気軽にお茶とお菓子を楽しませよう」と呼び掛けています。

パラソル喫茶 6月開催日程
申込不要、参加無料

- 6月12日(水) 宮城野区/岡田西町公園仮設住宅
- 6月13日(木) 若林区/日辺グラウンド仮設住宅
- 6月26日(水) 宮城野区/仙台港背後地6号公園仮設住宅
- 6月27日(木) 若林区/荒井小学校用地仮設住宅

間/特定非営利活動法人ニッポン・アクティブライフ・クラブ(NALC)宮城 けやきの会
022-379-9718
<http://nalc-miyagi.jimdo.com/>

取材：大高志織@東北大学
情報ボランティア@仙台 ブログでも発信中です。
「同年代だからこそ出来る支援を」<http://flat.kahoku.co.jp/u/volunteer16/> より (地域SNS「ふらっと」ブログ)

情報掲示板

仮設住宅やご近所で開催される催し物や相談会、支援団体による支援情報などを紹介します。

被災された方のコミュニティ形成活動を支援します

仙台市では、東日本大震災で被災された方のコミュニティ形成に向けた取り組みに対して支援する「被災者交流活動助成事業」を行っています。

対象団体

応急仮設住宅などに入居する東日本大震災で被災された方が属する町内会や、被災された方が中心となって構成された団体など

対象事業

次のいずれかに該当する事業

- ①コミュニティ形成・活性化に資するまつりやイベント
- ②自主的な勉強会、講演会
- ③生きがいづくりへの支援 など

助成回数と助成金額

助成回数は、1事業につき1回、1団体につき3回が限度

助成金額は、1事業あたり10万円が限度

※一部助成対象外経費あり

助成期間

平成25年4月～平成26年3月

応募方法

申込書、役員名簿、団体の目的や活動内容がわかる資料を、事業実施(開始)予定日の前々月の月末までに提出してください

応募窓口・問い合わせ

022-247-1111(内線6137)太白区まちづくり推進課

行政に関する苦情、要望・意見はありませんか

行政困りごと相談所は、例えば相続、登記、年金保険、労働、税金、借金、離婚、暴力、生活保護など、暮らしの相談のほか行政全般を受け付けています。お気軽にご相談ください。※相談内容の一部は予約制となります

対象 どなたでも相談できます(相談無料、秘密厳守)

時 毎日10:00～18:00(店休日および年末年始を除く)

場所 藤崎一番町館6階(青葉区一番町3-4-1)

問 022-263-6201 行政困りごと相談所(総務省 東北管区行政評価局)

福島の新情報が閲覧できます

太白図書館で、「福島民報」「福島民友」が閲覧できるようになりました。平成25年4月から1年間、福島県から寄贈されるものです。図書館1階「震災エネルギー情報コーナー」に設置しており、コピーも可能です。他の閲覧可能な施設は以下でご確認ください。

http://www.cms.pref.fukushima.jp/download/1/04_04_miyagi.pdf

問 022-304-2742 太白図書館

長町商店街のフリーマーケット

長町商店街で、フリーマーケットを開催します。掘り出し物が見つかるかも? ぜひ足を運んでみてください。

時 6月23日(日)10:00～16:00

場所 長町駅前西口広場

問 022-304-2321 長町商店街連合会

支えあいセンターからのお知らせ

借り上げ民間賃貸住宅(以下、みなし仮設)にお住まいの方を支援する支えあいセンター主催の、おすすめサロン・イベント情報です。すべて参加無料。

サロン・イベント名	対象	時	時間	会場	内容	申込	問い合わせ
ほのほの中央サロン	太白区のみなし仮設にお住まいの方	6月15日(土)	10:00～12:00	太白区中央市民センター	皆で活性化! 脳トレしましょう!	要(電話)	支えあいセンター たいはく 022-217-7234
仙台市中央サロン	仙台市中央市民センター周辺のみなし仮設にお住まいの方	6月15日(土)	10:00～12:00	仙台市中央市民センター	おしゃれなフォトフレームづくり	要(電話)	支えあいセンター みやぎの 022-292-0990
いくねおちゃっこの会	六郷地区にお住まいだった方、現在も居住している方	6月18日(火)	10:00～12:00	六郷市民センター	六郷地区の歴史を語る	要(返信はがき)	支えあいセンター わかばやし 022-781-0559
体を動かそう(健康体操)	泉区のみなし仮設にお住まいの方	6月19日(水)	10:00～12:00	黒松市民センター	八乙女地域包括支援センターの方と一緒に健康体操	不要	支えあいセンター いずみ 022-772-5755
音楽の力で元気になろう!! 旭ヶ丘みんなのコンサート	旭ヶ丘市民センター周辺のみなし仮設にお住まいの方	6月27日(木)	13:00～15:00	旭ヶ丘市民センター	復興支援コンサート	要(招待券を持参ください)	支えあいセンター あおば 022-217-7234

※その他の交流サロンについては、支えあいセンターからのダイレクトメールでご確認ください

あすと長町仮設住宅イベント(会場はすべて仮設住宅集会所)

※下記以外にもさまざまな催しがあります

日時	イベント	対象	問い合わせ
6月11日(火) 10:30～12:00	仙台ほっとカフェ	仮設住宅入居者	仙台的のちの電話事務局 022-718-4401(ほっとカフェ担当)
6月12日(水) 13:30～15:00	心の悩みを聴く	仮設住宅入居者	仙台傾聴の会 080-3199-4481(森山/火・木・土曜日 9:00～17:00)
6月26日(水) 13:30～15:00	おしゃべりとお茶の時間	仮設住宅入居者	人來田生活学校 022-244-5236(高橋)
6月14日(金) 10:00～12:00	小物づくり ※裁縫用具をご持参ください	仮設住宅入居者	みやぎ音楽支援ネットワーク 090-2023-7487(楢原)
6月17日(月) 13:30～15:00	懐かしのメロディを楽しむ会	仮設住宅入居者	こうやくんカフェ 090-4643-7499(鈴木)
6月18日(火) 13:00～15:30	華道部	仮設住宅入居者	安心・安全な町づくり 022-247-0659(宮内)
6月19日(水) 10:00～13:00	食育講座 ※食事代 300円	仮設住宅入居者	色業工房 090-9072-2160(庄子)
6月19日(水) 13:00～15:30	糸あそびの会	仮設住宅入居者	一般財団法人 アート・インクルージョン 080-4357-7035(門脇)
6月21日(金) 13:00～15:00	おしるこカフェ	仮設住宅入居者、近隣の方	

最近の健康ブームにおいてお酢は注目される食品の一つですね。血液をきれいにサラサラにする、やせる働きを高め肌の老化を防ぐ、消化を促進し便秘を改善するなどがお酢の効果とされています。

お酢は料理の文化において塩とともに大切で、旧約聖書にも登場するくらいルーツは古いのです。ルーツはヨーロッパ。「お酒」をつくっている過程でどういう訳かできてしまったとのこと。日本には四世紀の末頃、お酒をつくる技術と一緒に中国から入ってきました。

お酢と言えば、虫菌はないのに冷たいものが見る、という患者さんが来しました。よくよくお話を聞きましたら、体の健康のために毎日夜寝る前にお酢をコップ一杯飲んでいとのこと。歯の表面のエナメル質がお酢の酸で傷ついて、虫菌じゃないのにしみるようになってしまったのです。毎日飲むのはさけて飲む時は食事の前に行きましょうとアドバイスをしましたら、しみるのはだいぶ楽になったとのことでした。

お酢を飲むのは体にはとてもいいのですが、お口にはちょっと注意が必要ですね。お口と歯から始まる健康生活はじめてみませんか。

柏崎 潤(かしわざき じゅん)

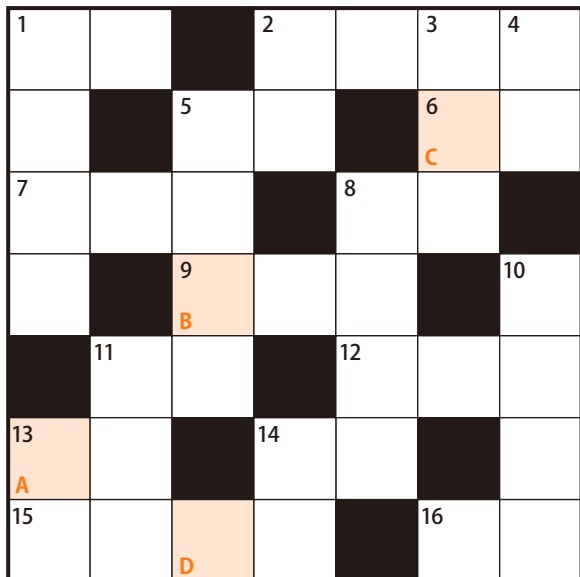
日本睡眠学会認定歯科医、クリニック内で『ジュン先生の歯学教室』を開催するなど、歯と健康に関するトータルアドバイザーでもある。ホームページ <http://www.junshika.jp/>

クロスワードパズル

出題 石田竹久

こたえ

A B C D



タテのカギ

- ① 仙台じゃ豆が代表格。ずんだに使われる作物
- ② 独特の香味がある葉で仙台味噌などを包んだ、〇〇巻き
- ③ 何でも好きなものが出るといわれる、打ち出の〇〇〇
- ④ お茶〇〇とは、お茶を飲むのに合う食べ物。仙台駄菓子や長なす漬けもこれにあたるでしょう
- ⑤ 面目が立たず、散々なこと。「大の男が〇〇〇〇だ」などと言います
- ⑧ 「仙台・宮城デスティネーションキャンペーン」の一環で、6月16日、22日に、「むすび丸しゃもじ 〇〇〇〇卓球大会」が鳴子や松島などで開催されます
- ⑩ 仙台市の資福寺、美里町の山神社などで、初夏を彩る花
- ⑪ 神様をまつる小さいおやしる
- ⑬ 木の枝を生やす太い部分
- ⑭ 美里町の町花。6月30日には〇〇フェスティバルが開催されます

ヨコのカギ

- ① 旅のお供に海の幸や山の幸を。仙台〇〇は〇〇弁の宝庫
- ② 広いホールでワルツにタンゴ、〇〇〇〇ダンス
- ⑤ 「過密」の反対語
- ⑥ 春からの「伊達美味(だてうま)」キャンペーンにもメニュー入り。宮城県産のお米と、醤油などのたれに漬けた白身の地魚を主とした新定番のグルメ、仙台〇〇弁
- ⑦ 大相撲の立ち会いで行司が発する、「〇〇〇なし!」
- ⑧ 落語で「下げ」ともいわれる終わりの部分
- ⑨ 金の純度などが極めて高いことを示すフォー〇〇〇とは、99.99%のこと
- ⑪ 気仙沼の美味。サメの心臓をいただく、モウカの〇〇
- ⑫ リンカーンいわく。「人民の人民による人民のための〇〇〇」
- ⑬ 「巫女」の読みは?
- ⑭ 碁や将棋で、対戦者の間に置く台
- ⑮ 新鮮な魚介を使った、南三陸町の名物どんぶりといえば、〇〇〇〇弁
- ⑯ 宮城県の名産のひとつ、ホタテ。中央には大きな〇〇柱

前回のこたえ

A B C D E F
ア オ バ マ ツ リ

でした。



編集後記

今回の特集を取材してみて、あらためて周囲の方たちとコミュニケーションを取ることは大切だと感じました。普段から風通しを良くしておかないと、いざというときに大変ですよ。(さいとう)

バイクの免許を取得しました! つま先立ちで200km/hの車体と格闘し、転ぶ回数数十回。根性で免許は取れましたが、年齢からくる傷の治りの遅さまではどうにもできないものですね。(あつみ)

お住まいを移転される方へ

お住まいを移転されると、移転先に「みらいん」が届かなくなる可能性があります。引越し後も引き続き購読を希望される方は、編集部までご一報ください。

宛先: 〒984-0011 仙台市若林区六丁の目西町2-12 「みらいん」編集部
TEL: 022-390-5755
FAX: 022-390-5756 e-mail: kawara@mmmm.or.jp